**膨大な情報を蓄積するデータベース**

オフィスの三種の神器と呼ばれているソフトがあります。ワープロと表計算、そして、このデータベースソフトです。

データベースソフトは情報を蓄積して必要に応じて取り出すソフトです。前にも説明しましたがコンピュータはもともと計算をさせるための機械でした。人間にはとても不可能な計算をたちどころに行ってしまうのです。ところが、コンピュータを使い込むうちに新しい力がわかってきました。膨大な量の情報を蓄積して、その情報を自在に取り出す機能です。これに目を付けて開発されたのがデータベースというわけです。

データベースは住所録や蔵書録など、今まで紙に書いて保存してきたような情報をデジタル化して、一覧にしたり検索したりするのに適しています。紙と比べると、登録はめんどうですが、いったん登録すると検索や変更が非常に簡単にできます。これが大きなメリットです。趣味で文献整理やＣＤ管理、ビデオライブラリなど多彩に活用できます。これら単純なデータの蓄積には、カード型データベースが便利です。

データベースにはもう一つ、ちょっと高度なリレーショナル型データベースというものもあります。これはビジネスで使用されている売上管理システムや在庫管理システムなど業務システムの構築に使用されます。この分野になると、ほとんどデータベースの顔は出てきません。これは、業務システム作成用のソフトと覚えた方が理解しやすいと思われます。